



令和 3 年度 事業計画書

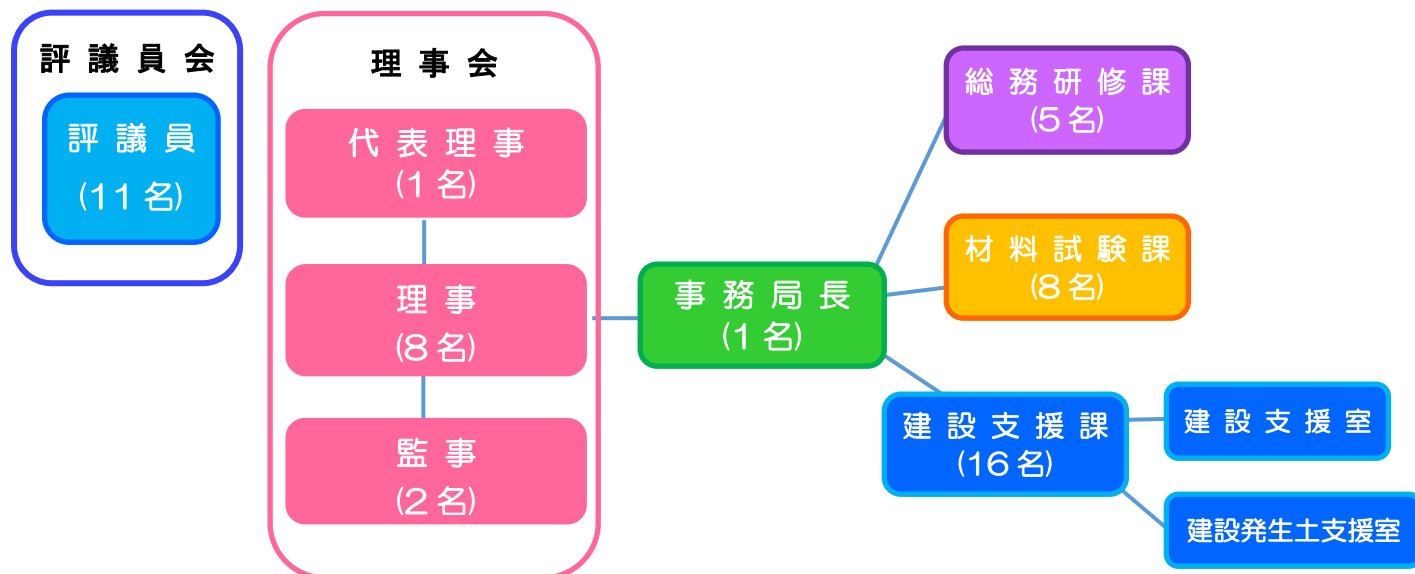
令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

公益財団法人鳥取県建設技術センター

目 次

①	組織	1 頁
②	事務局職員	1 頁
③	令和 3 年度事業一覧表	2 頁
	令和 3 年度事業別収支予算一覧表	3 頁
④	社会資本整備事業	4～16 頁
	1-1 研修事業	
	1-1-1 自主研修	(4～5 頁)
	1-1-2 受託研修	(6 頁)
	1-1-3 その他の研修	(6 頁)
	1-2 図書等頒布事業	7～8 頁
	1-3 試験検査事業	9～10 頁
	1-4 技術支援事業	11～13 頁
	1-5 建設発生土受入事業	14～16 頁
⑤	法人の運営・管理の運営	17 頁

1 組織



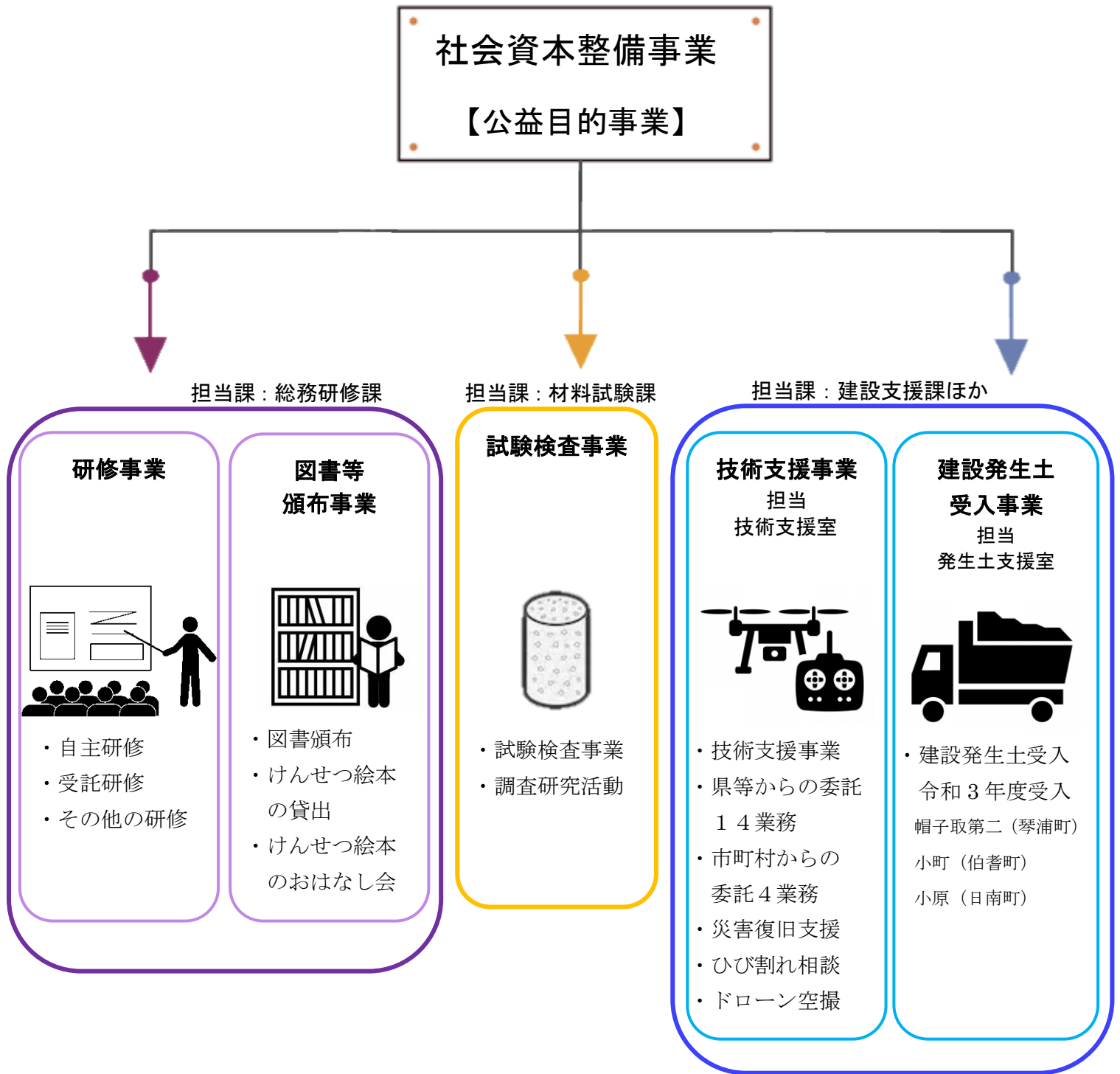
※人数は臨時的任用職員含む

2 事務局職員

(R3.3.1 現在)

所 属	主な業務	職 名	氏 名	備 考
		事務局長 (兼) 総務研修課長	長谷善幸	
総務研修課	<ul style="list-style-type: none"> 研修事業（自主、受託研修） 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会事務局 とっとり建設☆女星 NW 事務局 図書頒布事業 建設工事下請取引調査 	主 幹	前田民子	
		主 幹	浦田純子	
		副主幹	藤井成之	
材料試験課	<ul style="list-style-type: none"> 試験検査事業 調査研究活動 再生砕石品質調査試験 	課 長	宮脇泰一郎	
		参 与	松井信作	
		主 幹	大西慶祐	
		技 師	川本和也	
建設支援課 建設発生土 支援室	<ul style="list-style-type: none"> 建設発生土受入事業 	課 長	倉本政寛	(出向)
		室 長	吉田和史	
		主 幹	井上純一	
		参 与	前田健文	
技術支援室	<ul style="list-style-type: none"> 技術支援事業 県、市町村等の積算、監督補助、検査業務 市町村インフラ維持管理支援 新技術への支援 	課長(兼)室長	倉本政寛	
		参 与	赤川 定	
		参 与	反田敏博	
		副主幹	竺原 努	
		副主幹	井上和大	
		技 師	石井一彦	
技 師	石黒友規			

3 令和3年度事業一覧表



令和3年度 事業別収支予算一覧表

(単位：千円)

事業名		内 訳	収入①	支出②	差引①－②
1-1 研修事業	1-1-1 自主研修	(1) 一般研修	18,980		
	1-1-2 受託研修	(1) 県土整備部技術職員等研修	4,332		
	1-1-3	(1) とっとり建設産業の魅力発信講座	0		
	その他の研修	(2) 建設産業育成研修	6,694		
小計			30,006	27,443	2,563
1-2 図書頒布事業			8,410	10,702	△ 2,292
1-3 試験検査事業	(1) 試験検査事業収入		67,663	70,610	
	(2) 減価償却引当預金		4,884	3,500	
	(3) その他		20	0	
	小計			72,567	74,110
1-4 技術支援事業	(1) 受託 (県関係)	(1) 建設工事下請取引等点検調査業務	4,341		
		(2) 用地先行取得に係る支援業務<廃止>	0		
		(3) 再生砕石及びアスファルト合材品質実態調査に係る試験業務	854		
		(4) 工事積算補助業務	29,651		
		(5) ひび割れ診断業務	1,900		
		(6) 新技術・新工法活用システム事前審査業務	700		
		(7) 道路台帳等修正業務	15,342		
		(8) 工事検査補助に係る試験業務	1,198		
		(9) 電子成果品保管・管理業務	906		
		(10) 賃金水準等詳細調査業務	3,683		
		(11) 土木工事共通仕様書の改訂業務<廃止>	0		
		(12) インフラ維持管理技術養成講習支援業務<廃止>	0		
		(13) 橋梁直営点検・診断業務	4,900		
		(14) 公共残土利用促進業務	3,300		
計			66,775		
(2) 受託 (市町村関係)	(1) 工事積算補助業務	19,474			
	(2) 現場技術業務	8,100			
	(3) 橋梁補修工事の積算、現場管理補助及び技術的アドバイス業務	11,902			
	(4) 工事検査補助業務	1,834			
計			41,310		
(3) その他	(1) 災害復旧支援業務	3,000			
	(2) コンクリートひび割れ相談窓口業務	2,000			
	(3) 支援業務の効率化	350			
	(4) 橋梁マネジメント開発共同研究	3,500			
計			8,850		
小計			116,935	98,704	18,231
1-5 建設発生土受入事業	(1) 受入収入	(1) 岩美第二 (計画0m ³)	0		
		(2) 帽子取2 (計画120,000m ³)	178,200		
		(3) 小町 (計画60,000m ³)	89,100		
		(4) 小原 (計画45,000m ³)	99,000		
	計			366,300	424,148
(2) 特定費用準備資金等			81,400	30,000	
(3) その他			255		
小計			447,955	454,148	△ 6,193
管理費			781	36,547	△ 35,766
収支差			676,654	701,654	△ 25,000

4 社会資本整備事業

1-1 研修事業

令和3年度のポイント

【自主研修】

○建設産業に必要な技術者の継続的で、かつ高度な資質の向上を図るため、働き方改革への対応、生産性の向上、職場環境の改善等に資するため、受講生のニーズや時代の要請に応じた質の高い研修を実施します。

【鳥取県からの受託研修】

○県土整備部技術職員研修を継続して受託します。

【その他の研修】

○令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止や延期となる取組もありましたが、主に専門高校等の要望に基づきへ魅力発信、技術力向上、資格取得の取組を継続して実施しました。

また、協議会の取組動画制作並びに山崎エリナ写真展を開催し、魅力発信に努めました。社会人講師による授業は進路選択や進路決定にも繋がるとの評価いただいております、次年度も他団体等と連携して取組を継続します。



(単位：千円)

区分	R3 年度予算A	R2 年度予算	増減額A-B
自主研修	18,980	19,182	△202
受託研修	4,332	4,372	△40
とっとり建設産業の魅力発信講座	0	0	0
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会	6,694	6,544	150
計	30,006	30,098	△92

1-1-1 自主研修

業務名	内容	予算 令和3年度 (令和2年度)												
① 自主研修 (継続)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>講座数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度計画</td> <td>44</td> <td>4,000人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度計画</td> <td>48</td> <td>4,400人</td> </tr> <tr> <td>対前年</td> <td>△4</td> <td>△400人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 働き方改革や ICT 活用など、時代の要請や受講者のニーズを的確にとらえた研修を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①若手技術者のための基礎研修の拡充 ② ICT (デジタル化) 関連の研修の実施 ③頻発、激甚化する災害への対応研修の充実 ④インフラ維持管理に関する研修の拡充 <p>(2) 研修検討委員会の意見、アンケート結果、業界のニーズを踏まえ、「建設業における働き方改革」等 7 研修を新規に計画するとともに、継続する研修についても研修内容や講師を一部変更して実施します。</p> <p>(3) 研修アンケート、確認テストのデジタル化や研修システムの改修を行い、受講環境の改善を図るとともに、コロナ禍での受講機会の確保に繋がります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web アンケートアプリ導入 350 千円 (Web 上でテスト及びアンケートを実施) ・研修システムの改修 1,000 千円 (テスト結果の取込口作成、年齢・経験年数把握) ・消耗品費等の増 600 千円 (修了証書郵送、タブレット購入等) 	区分	講座数	受講者数	令和3年度計画	44	4,000人	令和2年度計画	48	4,400人	対前年	△4	△400人	18,980 千円 (19,182 千円)
区分	講座数	受講者数												
令和3年度計画	44	4,000人												
令和2年度計画	48	4,400人												
対前年	△4	△400人												

令和3年度自主研修計画一覧表

区分	研修名		加点 研修	CPD研修			受講 者数	備考
				CPDS	コンサル 協会	建築士会		
魅力的な職場づくりと 新人技術者の 定着	1	【新規】建設業における働き方改革（半日）	技術	○	○	○	60	魅力的な職場づくりや新人・若手技術者の建設業への定着を図るため、基礎的知識や技術を習得するための研修拡充、VR 動画・VR ゴーグル等を活用した研修の実施、社会人としてのマナーや職場内のコミュニケーションに関する研修を実施する。
	2	【新規】現場技術者のための安全衛生管理（半日）	技術	○	○	○	160	
	3	新人技術者のための公共工事基礎（2日間）	技術	○	○		50	
	4	経営管理Ⅱ（半日）	経営	○	○		100	
	5	ゼロから始める現場管理	技術	○	○	○	50	
	6	新人技術者のためのビジネスマナー	人権	○	○		50	
	7	初めての構造力学（2日間）	技術	○	○	○	70	
	8	土質の基礎（2日間）	技術	○	○	○	70	
	9	現場で役立つ水理学	技術	○	○		40	
	10	丁張り実習	技術	○			20	
	11	新人技術者のための施工技術基礎	技術	○	○		40	
	12	基礎から学ぶ土木工事積算		○	○		80	
	13	土木施工管理（共通編）	技術	○	○		80	
	14	技術者のための施工計画	技術	○	○		100	
	15	現場管理スキルアップ	技術	○	○		100	
	16	事例から学ぶ現場の安全管理	技術	○	○	○	200	
	17	受発注者のための品質確保	技術	○	○	○	100	
	18	仮設工	技術	○	○	○	100	
	19	工事施工中の環境配慮	技術	○	○	○	100	
	20	現場の原価管理演習	技術	○	○		100	
	21	建設工事の入札制度（半日）	技術	○			150	
	22	コミュニケーション（半日）	人権	○	○		160	
	23	人権に関する講習会（半日）	人権	○	○		180	
	24	メンタルヘルス（半日）	人権	○	○		160	
デジタル化推進への	25	経営管理Ⅰ（半日）	経営	○	○		200	電子データ化、電子検査、遠隔臨場等デジタル化に係る研修を実施する。
	26	【新規】建設業におけるICT活用	技術	○	○	○	100	
	27	【隔年】新技術・新工法（半日）	技術	○	○	○	100	
災害対応及び 災害復旧	28	激甚化する豪雨災害への対応	技術	○	○	○	100	国が進める防災・減災、国土強靱化の取組みの紹介や、災害対応や復旧工法を解説する研修を実施する。
	29	斜面災害の発生原因と対策	技術	○	○	○	100	
	30	事例から学ぶ災害対応（地震編）	技術	○	○	○	100	
	31	土質・地質による工法選定	技術	○	○	○	80	
	32	軟弱地盤対策	技術	○	○	○	80	
インフラ 老朽化 への対策	33	道路構造物の維持管理	技術	○	○		90	インフラ維持管理に関する研修等、老朽化の原因を調査検討して究明し、対策を講じることに重点を置いた研修を実施する。
	34	橋梁点検と補修計画		○	○		80	
	35	河川構造物の維持管理	技術	○	○		60	
	36	橋梁維持補修	技術	○	○		60	
	37	橋梁維持補修	技術	○	○		60	
	38	コンクリート構造物ひび割れ補修	技術	○	○	○	100	
建設コンサル タのための	39	【新規】コンクリート標準示方書に関する講習		○	○		80	建設コンサルタントのための研修を新設する。
	40	【新規】トラブル事例から学ぶ擁壁設計		○	○		80	
建築関係の 研修	41	【新規】建築工事の積算演習（半日）	技術	○	○	○	30	受講者から要望の多い建築に特化した研修を新設する。
	42	建築工事の安全管理	技術	○	○	○	80	
	43	建築工事の品質管理	技術	○	○	○	50	
	44	電気・機械設備の品質管理	技術	○	○	○	50	
計							4,000	

※受講料 1日研修：5,000円 半日研修：3,300円 2日間研修：10,000円 経営者研修：4,100円

1-1-2 受託研修

業務名	内容	予算 令和3年度 (令和2年度)
①県土整備部 技術職員研修 (継続)	技術職員の技術力向上、良質な工事執行の確保及び工事の監督業務の適正化を目的として、県土整備部技術職員研修を継続して受託します。 (鳥取県県土整備部技術企画課で研修内容を検討中)	4,332千円 (4,372千円)

1-1-3 その他の研修

業務名	内容	予算 令和3年度 (令和2年度)
とっとり建設産業の 魅力発信講座 (継続)	将来の県内建設産業の担い手確保を目的として、小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を開催します。 ・講座内容：出前説明会を近隣の小中学校 (河北小、西郷小、上北条小、河北中) で開催予定	0千円 (0千円)
鳥取県建設分野 担い手確保・育成 連携協議会： 平成29年1月設立 (継続)	鳥取県建設分野担い手確保・育成協議会では、各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、建設産業の担い手の確保・育成のため事業を継続して推進していきます。 ①ホームページ保守管理 ・SNSを活用した情報発信：協議会並びに関係団体の取組等 ②研修等運営 ・けんせつ絵本おはなし会 (小学生一般) ・第4回とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト (小中学生) ・職場体験学習 (中学生) ・魅力発信ガイダンス、UAV測量演習、CAD基本操作、土木積算、現場見学会、資格取得支援等 (高校) ・リスクマネジメント講座 (大学) ・1級、2級土木施工管理技士資格取得支援 (既就労者) ③協議会運営 ・協議会運営人件費等	6,694千円 (6,544千円)
計		6,694千円 (6,544千円)



けんせつ絵本おはなし会



とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト

研修事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額	
収入	事業収入	・一般研修 ・県土整備部技術職員等研修 ・建設産業育成研修	18,980 4,332 6,694	
		計	30,006	
	支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	8,655
		使用料及び賃借料	・コピー機、パソコン、土地建物使用料	3,321
諸謝金		・講師謝金 (個人)	2,491	
委託料		・講師謝金 (法人)	4,980	
ソフトウェア購入支出		・研修システム改修	1,000	
その他		・テキスト印刷代ほか	6,996	
	計	27,443		
	差引		2,563	

1-2 図書等頒布事業

令和3年度のポイント

- 「鳥取県土木工事施工管理ハンドブック」改定版を販売します。
- けんせつ絵本の貸出増加への取組を行います。

業務名	内 容	予算 令和3年度 (令和2年度)																																			
図書頒布 (継続)	<p>R3年度は10年ぶりに改定される「鳥取県土木工事施工管理ハンドブック」を発刊し、初年度は、1,500部の販売を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売時期：R3.7月、印刷部数：2,050部（前回の販売部数2,175部を考慮） ・印刷費：9,629千円（@4,697円×2,050部） ・販売価格：5,000円 ・販売額：10,250千円（@5,000円×2,050部） <p>R3年度図書等頒布一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>図 書 名</th> <th>部数</th> <th>販売単価 (円)</th> <th>R3収入 (千円)</th> <th>R2収入 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県土木工事施工管理 ハンドブック</td> <td>1,500</td> <td>5,000</td> <td>7,500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設計、測量、地質・土質 調査共通仕様書</td> <td>5</td> <td>2,851</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>道路工事関係技術便覧</td> <td>10</td> <td>1,476</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>河川・海岸便覧ほか3種</td> <td>10</td> <td>1,069</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>複写用プリペイドカード</td> <td>290</td> <td>3,000</td> <td>870</td> <td>1,168</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,815</td> <td></td> <td>8,410</td> <td>1,208</td> </tr> </tbody> </table>	図 書 名	部数	販売単価 (円)	R3収入 (千円)	R2収入 (千円)	鳥取県土木工事施工管理 ハンドブック	1,500	5,000	7,500	0	設計、測量、地質・土質 調査共通仕様書	5	2,851	14	14	道路工事関係技術便覧	10	1,476	15	15	河川・海岸便覧ほか3種	10	1,069	11	11	複写用プリペイドカード	290	3,000	870	1,168	計	1,815		8,410	1,208	8,410千円 (1,208千円)
図 書 名	部数	販売単価 (円)	R3収入 (千円)	R2収入 (千円)																																	
鳥取県土木工事施工管理 ハンドブック	1,500	5,000	7,500	0																																	
設計、測量、地質・土質 調査共通仕様書	5	2,851	14	14																																	
道路工事関係技術便覧	10	1,476	15	15																																	
河川・海岸便覧ほか3種	10	1,069	11	11																																	
複写用プリペイドカード	290	3,000	870	1,168																																	
計	1,815		8,410	1,208																																	

業務名	内 容	予算（支出） 令和3年度 (令和2年度)
けんせつ 絵本の 貸出 (継続)	<p>H30年度から、子どもたちや保護者に建設産業の役割や大切さを知っていただくため、鳥取県の図書館ネットワークを活用し県内の公立図書館へ、けんせつ絵本(70冊)の貸出を行っています。</p> <p>貸出数は、12館に於いて延べ880冊となっており、ダンプトラックやバックホウなど働く車の絵本は親子で楽しめるとの声をいただいています。</p> <p>R3年度は、けんせつ絵本の貸出増加への取組として次のとおり行います。</p> <p>(1) 蔵書を増やす (R2:70冊⇒R3:100冊) 多くの方にけんせつ絵本に触れていただくため、蔵書を年次計画に基づき現在の70冊をR3年度は30冊購入し、100冊とする。新たに発刊された絵本を中心に購入します。</p> <p>(2) R3年度貸出計画 多くの県民の方に、けんせつ絵本に親しんでいただくため計画的な貸出巡回を行うこととしR3年度は岩美町、智頭町、倉吉市、倉吉市関金町の4館を実施する。</p> <p>(3) センター内図書室の活用 センター図書室に「けんせつ絵本貸し出しコーナー」を新設し、近隣住民の方（特に幼児、保護者）に利用しやすい環境を整えます。 図書館用の貸出絵本とは別に、重機をテーマにした絵本、人気のある絵本を展示し貸し出しするとともに、夏休み期間中にセンター図書室でおはなし会を開催する。R3：コーナー用絵本20冊を購入し、レイアウト変更を行います。</p> <p>(4) とっとり建設☆女星ネットワーク、鳥取大学との連携 けんせつ絵本のおはなし会を女星NW、鳥取防災ラボと連携し、読み聞かせや防災の話を図書館4館（岩美、智頭、倉吉、関金町）で実施する。参加人数は延べ120人を予定。</p>	200 (200)

【絵本の貸出、おはなし会開催計画】

図書館	絵本の貸出		おはなし会		備考
	貸出期間	貸出数	開催時期	参加人数	
岩美図書館	R3年1月～4月	40冊	4月	30人	
智頭町立智頭図書館	R3年5月～7月	30冊	7月	30人	GW
倉吉市立図書館	R3年8月～11月	60冊	8月	30人	夏休期間
倉吉市立せきがね図書館	R3年12月～R4年1月	20冊	12月	30人	冬休期間
計		150冊		120人	

図書頒布事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金額	
収入	事業収入	・鳥取県土木工事施工管理ハンドブック	7,500	
		・複写用プリペイドカード	870	
		・その他	40	
	計		8,410	
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、福利厚生	339	
		印刷製本費	・鳥取県土木工事施工管理ハンドブック	9,629
			その他	734
	計		10,702	
差引			△ 2,292	

1-3 試験検査事業

令和3年度のポイント



- 顧客からの信頼を継続するため、試験精度を維持し、試験件数の確保に繋がります。
- 試験業務を紹介するPR資料を作成し、試験件数の増加を目指します。
- 試験技術の研鑽、調査研究活動を推進するため、OJTや外部教育を活用し人材育成を行います。

【業務概要】

1 技術（試験）の継承

- ・顧客からの信頼を継続するため、試験精度を維持し、試験件数の確保に繋がります。
- ・土の三軸圧縮試験や硬化コンクリートの塩化物イオン測定試験など需要の高い試験に対応するため、OJTを通じて試験担当者の複数化を進めます。
- ・試験精度を維持するため、試験機器の整備、点検、校正を実施し適正な状態を維持します。
- ・今年度は、主に骨材試験に使用する電子天秤、自動滴定装置、光度計、洗浄機を更新します。
- ・試験依頼を増やすため、試験業務を紹介するPR資料を作成し、HP掲載、受付窓口配布を行います。

2 JIS Q 17025（JNLA）の内部監査、更新の実施

- ・ISO 17025（JIS Q 17025）に適合する試験機関（JNLA登録事業所）として、JNLA登録を継続します。
- ・内部監査体制を強化するため、内部監査員を1名増員し4名体制とします。
- ・JNLA登録の有効期間がR4年8月に満了することから、年度内には更新申請手続等の準備を進めます。

3 人材育成と確保

- ・品質目標を達成するため、教育・訓練計画書に基づき、OJTや外部研修を通じて計画的な人材育成に取り組みます。
- ・土の三軸圧縮試験や硬化コンクリートの塩化物イオン測定試験など需要の高い試験に対応するため、OJTを通じて試験担当者の複数化を進めます。（再掲）

4 調査研究・分析

- ・令和3年度は、コンクリート分野、土質分野における建設現場の課題を整理し、研究目的並びに目標を設定します。
- ・テーマとしては、コンクリート関係（軽量コンクリート）、土質関係（地盤改良）を予定しています。

【試験項目別収入】

試験分類	令和3年度予算 A		令和2年度予算 B		増減額 A-B	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
土質	2,020	23,652	2,027	23,794	△7	△142
骨材	800	5,497	819	5,599	△19	△102
コンクリート	28,190	36,815	26,949	35,190	1,241	1,625
アスファルト	360	733	337	693	23	40
鋼材	420	577	419	571	1	6
水	30	389	30	378	0	11
計	31,820	67,663	30,581	66,225	1,239	1,438

試験事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内訳	金額
収入	事業収入	・試験検査収入 ・雑収入	67,663 20
		・減価償却引当預金取崩収入	4,884
		計	72,567
	支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生
	委託料	・試験機点検、校正	6,483
	什器備品購入支出	・天秤、自動滴定装置 紫外可視分光光度計、超音波ピペット洗浄器	4,884
	ソフトウェア購入支出	・試験システム改修	1,400
	その他	・光熱水費ほか	20,343
		計	74,110
		差引	△ 1,543

1-4 技術支援事業

令和3年度のポイント

老朽化が進むインフラの効果的・効率的な維持管理と、市町村の技術者確保が課題となっている中で、近年、建設行政（積算、現場管理、検査、点検から補修の維持管理業務等）の支援要請が増えています。県・市町村のニーズに確実に応えるため、より一層の支援強化・充実に取り組みます。

- 県・市町村からの受託業務を計画的かつ効率的に実施します。
- 市町村の建設工事からメンテナンスまで総合的に支援します。
- 橋梁点検の支援・体制づくりを強化します。
- 建設 ICT 活用による生産性向上・業務効率化への取組を推進します。
- 情報技術を活用したインフラ維持管理効率化に関する共同研究を進めます。



【業務概要】

- ・県、市町村からの各種受託業務を計画的かつ効率的に実施します。
- ・トンネル、下水道推進・管更生など特殊工事の積算に取組み、積算技術の向上、品質アップを図り、発注者（県、市町村）の支援を充実します。
- ・市町村の工事積算・現場技術業務、橋梁補修アドバイス業務、さらに検査補助業務を実施し、総合的な市町村支援を進めます。また、災害発生時には経験と実績を生かし、迅速かつ確実な災害復旧支援を行います。
- ・令和元年度から県で実施された橋梁直営点検について、市町村の点検・診断に拡大支援し、点検の効率化やコスト縮減に取り組みます。
- ・建設産業における生産性向上を図る建設 ICT 活用における技術支援として、ドローンを活用した測量データの3次元化や橋梁等の台帳管理・電子化等の取組を進めます。
- ・市町村の橋梁メンテナンスサイクルを一括支援する体制構築に向け、橋梁マネジメントシステム（仮称）を整備し、点検診断から補修工事に関する一連データの管理活用を進めます。

〔事業費総括表〕

（単位：千円）

区分	R3 年度予算 A	R2 年度予算 B	増減額 A - B	備考
受託（県）	66,775	76,749	△9,974	土地開発公社含む
受託（市町村）	41,310	40,815	495	
災害復旧支援	3,000	3,000	0	市町村
ひびわれ相談	2,000	2,000	0	民間
ドローン空撮	350	350	0	県、市町村ほか
橋梁MS開発	3,500	0	3,500	
計	116,935	122,914	△5,979	

(1) 受託 (県関係)

業務名	内容	予 算 R 3 年度 (R2 年度)	担当課
①建設工事下請取引等点検調査 (継続)	県発注の建設工事に係る下請取引等について適正化を図るため、その取引状況 (下請代金の見積・契約方法等) が建設業法の規定に違反がないか点検調査を行います。 (R3) 約 200 件 (R2) 約 200 件	4,341 千円 (4,341 千円)	総務研修課
②用地先行取得に係る支援業務 (廃止)	鳥取県土地開発公社が行う一般国道改築 (北条道路) 工事に係る用地先行取得事務のうち、補償金支払に関する書類作成等を行います。	- 千円 (1,500 千円)	
③再生砕石品質実態調査に係る試験 (継続)	再生砕石は、既設の構造物 (コンクリート、アスファルト等) を破砕したものを原材料としており、原材料の均一性を確保することが困難なことから、新材と比べ品質規格を満足しないことが生じやすいため、センターにおいて、ふるい分け試験等を行い、品質を調査します。	854 千円 (854 千円)	材料試験課
④工事積算補助 (継続)	設計業務委託成果品をもとに、発注者用図面作成、設計数量のチェック及び算出、工事価格の積算等を行います。 (R3) 道路、河川、砂防・治山、天神川流域下水管更生 (R2) 道路、河川、砂防・治山、天神川流域下水管更生	29,651 千円 (27,847 千円)	
⑤ひび割れ診断 (継続)	センターのコンクリート診断士がコンクリート構造物に発生したひび割れの診断を行い、ひび割れ抑制の指導を行います。 (R3) 10 箇所 (R2) 10 箇所	1,900 千円 (1,837 千円)	
⑥新技術・新工法活用システム事前審査 (継続)	県内の建設業者等で開発された新技術等の利活用の促進と製品の販路拡大を目的に、その工法及び製品が公共工事に活用出来るかどうかを事前に審査を行います。 (R3) 5 件 (R2) 5 件	700 千円 (897 千円)	
⑦道路台帳等修正 (継続)	道路工事後の道路形状変更、供用開始の告示資料、道路台帳付図の修正、道路情報便覧更新作業、道路現況調査票や交付税基礎数値算定資料などの作成を行います。	15,342 千円 (15,224 千円)	
⑧工事検査補助 (継続)	当初請負対象設計金額が 15,000 千円未満の合否判定のみの工事検査について、請負業者が作成した工事完成資料の事前確認を行います。 (R3) 30 箇所 (R2) 40 箇所	1,198 千円 (1,298 千円)	建設支援課
⑨電子成果品保管・管理 (継続)	県の請負工事及び測量設計業務に係る電子納品成果品 (CD 等) をセンター内で保管・管理します。 (R3) 600 枚 (R2) 600 枚	906 千円 (821 千円)	
⑩賃金水準等詳細調査 (継続)	県発注工事において、専門業者 (とび、型枠、鉄筋等 5 業種) への下請契約が、適正な賃金水準で契約されているかどうか調査するもので、下請契約の見積金額と設計金額とを対比させた資料を作成します。 (R3) 600 工種程度 (R2) 600 工種程度	3,683 千円 (3,596 千円)	
⑪土木工事共通仕様書の改訂 (廃止)	県の土木工事共通仕様書、施工管理基準等の改訂作業の支援と電子書籍化を行います。	- 千円 (1,725 千円)	
⑫インフラ維持管理技術養成講習支援 (廃止)	インフラ維持管理システムの実装後、インフラ点検を担う住民・ボランティア、市町村担当者を対象に維持管理技術を養成する講習を実施するとともに、システムサーバやタブレット端末等の保守管理を行います。(R2)1 回開催	- 千円 (8,609 千円)	
⑬橋梁直営点検・診断 (継続)	橋梁直営点検の点検実地指導、診断指導、健全度判定会の運営・とりまとめを行います。 (R3) 点検 50 橋 (R2) 点検 50 橋	4,900 千円 (4,900 千円)	
⑭公共残土利用促進 (新規)	県主催の建設発生土対策連絡協議会の開催補助を行います。	3,300 千円 (3,300 千円)	
計		66,775 千円 (76,749 千円)	

(2) 受託（市町村関係）

業務名	内 容	予 算 R 3 年度 (R2 年度)	担当課
①工事積算補助 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の積算を行います。 (R3) 境港市、琴浦町 (R2) 境港市、琴浦町、湯梨浜町、日南町（道路、下水道、排水機場、木材団地造成）	19,474 千円 (20,416 千円)	建設支援課
②現場技術 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の現場技術業務を行います。 (R3) 境港市、日南町 (R2) 境港市、日南町	8,100 千円 (7,900 千円)	
③橋梁補修工事の積算、現場技術及び技術的アドバイス (継続)	市町村が発注する工事のうち、特に専門的な技術を必要とする橋梁補修工事に対するアドバイスをを行います。 (R3) 鳥取市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町（3市6町） (R2) 鳥取市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町（3市6町）	11,902 千円 (11,902 千円)	
④工事検査補助 (継続)	市町村発注工事の工事完成検査について、請負業者が作成した工事完成資料及び現地の確認を行います。 (R3) 倉吉市 10 件、境港市 15 件、湯梨浜町 2 件 (R2) 倉吉市 8 件、湯梨浜町 2 件	1,834 千円 (597 千円)	
計		41,310 千円 (40,815 千円)	

(3) その他

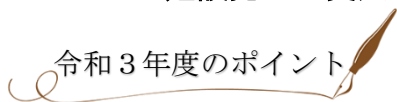
業務名	内 容	予 算 R 3 年度 (R2 年度)	担当課
災害復旧支援 (継続)	被災状況等の調査、復旧工法等の技術的助言及び査定設計書等の作成を行います。 (R3) 5 件 想定 (R2) 5 件 想定	3,000 千円 (3,000 千円)	建設支援課
コンクリートひび割れ相談 (継続)	受注者からの依頼により、コンクリート構造物のひび割れをコンクリート診断士が調査し、ひび割れ発生の原因の特定、補修の要否の決定及び補修方法を記載した「ひび割れ診断報告書」の作成に併せ、ひび割れ抑制・防止対策等について受注者に指導します。(R3) 20 件 (R2) 20 件	2,000 千円 (2,000 千円)	
支援業務の効率化(ドローンによる空撮等)(継続)	災害状況、工事進捗状況等の把握、ドローンを活用した測量データの3次元化を行います。 (R3) 5 件 (空撮) (R2) 5 件 (空撮)	350 千円 (350 千円)	
橋梁マネジメントシステム開発共同研究(新規)	東北大学との共同研究により、橋梁メンテナンスサイクル関連データを一元管理するシステム開発を行います。	3,500 千円 (-千円)	
計		8,850 千円 (5,350 千円)	

技術支援事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科 目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・受託（県）	66,775
		・受託（市町村）	41,310
		・その他（ひび割れ、ドローン、橋梁）	8,850
	計		116,935
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	70,335
	研究開発費	・橋梁マネジメントシステム研究開発	8,500
	什器備品購入支出	・小型ドローン	108
	その他	・土木設計積算システム使用料ほか	19,761
	計		98,704
	差引		18,231

1-5 建設発生土受入事業



公共事業を円滑に進めるため、県内全域で効率的かつ経済的な受入地の確保、大規模公共事業からの建設発生土を専用・優先的に受入を行っていきます。

○東部地区

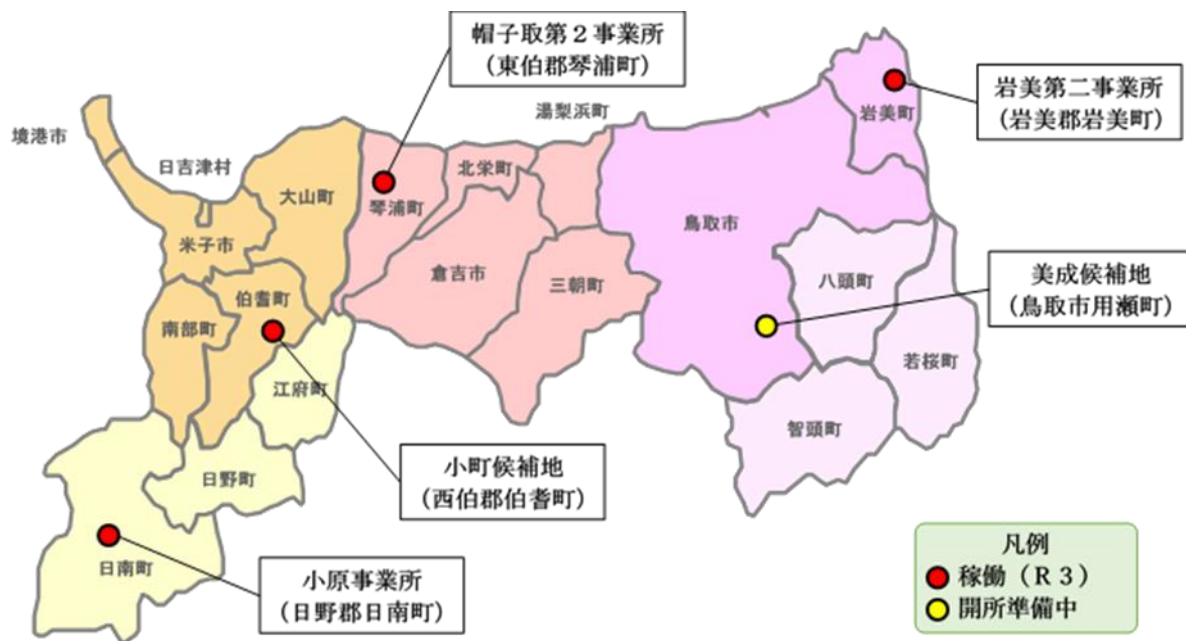
・志戸坂峠防災事業（国土交通省）の建設発生土を優先的に受け入れるため、美成候補地（用瀬町）はR4年度中の受入を目指し開所準備を進めます。

○中部地区

・帽子取第2事業所（琴浦町）を令和元年2月に開所し受入を開始しましたが、令和5年度には完了する見込みであり、切れ目無く継続的に受入を行うため、次期候補地を選定します。

○西部地区

・小町事業所（伯耆町）は、米子自動車道4車線化事業の建設発生土を優先的に令和3年10月から受け入れるため受入準備工事を発注します。また、日野管内においても小原事業所を開所し、鍵掛道路事業トンネル工事等の建設発生土を本格的に受入します。



稼働中事業所

帽子取第2事業所



岩美第二事業所



小原事業所



【事業概要】

(1) 東部地区

- ・岩美第二事業所（岩美郡岩美町）は一般国道 183 号岩美道路専用処分場としての受入がほぼ完了したが、容量的に受入が可能なこともあり、R3 年度は新たな公共工事の残土受入など取扱いを検討します。
- ・美成候補地（鳥取市用瀬町）は、開所準備を早期に進め、R4 年度中の受入を行うため市行造林地の用途変更、各種法規制等申請を進めます。

(2) 中部地区

- ・帽子取第 2 事業所（東伯郡琴浦町）は、R3 年度は 12 万 m³ の受入を行います。
- ・帽子取第 2 事業所の後継地として次期新規候補地を選定していきます。

(3) 西部地区

- ・小町候補地（西伯郡伯耆町）は、R3 年度から米子自動車道 4 車線化に伴う建設発生土の受入を開始し、他の公共事業を含め 6 万 m³ の受入を予定しています。
- ・小原事業所（日野郡日南町）は、国土交通省が実施する鍵掛峠道路事業からの建設発生土の専用処分場として受入準備を進めており、R2 年度は事業所内進入路用残土として 1 万 2 千 m³ を受入れ、R3 年度はトンネル本体工事を含め 4 万 5 千 m³ の受入を予定しています。

(4) 新規候補地

- ・東部管内は用瀬町美成候補地以外の新規候補地を選定していきます。
- ・中部管内は帽子取第 2 事業所が開所しましたが、減災・防災対策における河床掘削等大量に建設発生土が見込まれることから、切れ目のない受入体制を整えるため、新規候補地の選定を行います。
- ・日野管内で進めていた日野町別所及び江府町宮市候補地については、地権者及び下流地区の同意が得られなかったため、新たな候補地の選定を急ぎます。

受入収入一覧表 1,350 円/m³（※岩美第二は 2,530 円/m³ 小原は 2,200 円/m³）

地区	事業所名	R2 年度予算 A		R3 年度予算 B		増減額 B-A (千円)	備考
		土量(m ³)	収入(千円)	土量(m ³)	収入(千円)		
東部	岩美第二 (岩美郡岩美町)	7,500	18,975	0	0	△18,975	
中部	帽子取第 2 (東伯郡琴浦町)	100,000	132,000	120,000	178,200	46,200	
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	50,000	66,000	60,000	89,100	23,100	
	小原 (日野郡日南町)	5,400	11,880	45,000	99,000	87,120	
計		162,900	228,855	225,000	366,300	137,445	

R3年度 工事・設計等予算一覧表

(単位：千円)

地区	事業所名	R3年度 予算額	備考
中部	帽子取第1 (東伯郡琴浦町)	24,000	場内仕上工事(R2. 11. 24~R3. 3. 25) R2 予算の繰越 R2: 6,000 千円、R3: 24,000 千円
	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	21,000	場内造成工事 (R2. 12. 7~R3. 9. 10) R2 債務負担行為承認済 R2: 14,000 千円、R3: 21,000 千円
		50,000	場内造成工事
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	80,000	場内造成工事及び進入路工事
		20,000	場内造成工事
	小原 (日野郡日南町)	55,000	沈砂池・暗渠設置・造成工事
		25,000	造成工事
	新規候補地調査	10,000	新規2箇所概略設計 (中部地区・日野地区)
計		285,000	

事業所別受入土量見込

(単位：千m3)

地区	事業所名	受入期間	全体 土量	R2 受入土量	R2 末 受入累計	R3 受入土量	R3 末 受入累計	R3 末受入 可能土量	進捗率 (%)
東部	岩美第二	H28年8月~R5年度	250	8	164	—	164	86	66%
中部	帽子取第2	R元年~R5年度	455	110	110	120	230	225	50%
西部	小町	R3年度~R10年度	900	—	—	60	60	840	6%
	小原	R2年度~R4年度	250	12	12	45	57	193	22%
計			1,855	130	286	225	511	1,344	

建設発生土事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金額
収入	事業収入	・帽子取2	178,200
		・小町	89,100
		・小原	99,000
	・処分場整地等積立資産取崩収入等	81,655	
計			447,955
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	38,920
	工事請負費	・帽子取2、小町、小原等	275,000
	委託料	・新規事業所概略設計	22,680
	負担金	・小町用地買収等	69,000
	処分場整地等積	・処分場整地等積立資産支出	30,000
	その他	・事業所用地使用料ほか	18,548
	計		
差引			△ 6,193

5 法人の運営・管理の運営

(1) 理事会及び評議員会の開催について

①理事会

開催時期	内 容
R3年 5月	R2年度事業報告、決算及び評議員会の開催について
R3年 10月	R3年度職務執行状況について
R4年 3月	R4年度事業計画書等について、評議員会の開催について

②評議員会

開催時期	内 容
R3年 5月	R2年度事業報告及び決算について
R4年 3月	R4年度事業計画書等について

(2) 監事監査の実施について

開催時期	内 容
R3年 5月	R2年度決算監査
R3年 11月	R3年度定例監査

(3) 建設技術センターまっりの開催について

①開催日：令和3年10月中旬（日）

②目 的：主にファミリー層を対象に建設産業に親しみを持ってもらうとともに、地域における役割や魅力を広く理解してもらい、次世代を担う子どもたちに建設産業イメージアップを図る。

③主 催：鳥取県産業人材育成センター倉吉校と合同で開催（予定）

R2年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策の観点から、建設技術センター単独で「けんせつフェスタ 2020」を開催した。

<R2年度実施内容>

- ・「インフラメンテナンス×写真家 山崎エリナ＝感動・共感・ドボクのチカラ写真展」
- ・アプリでドローン操縦体験
- ・「重機でGo」体験
- ・ダ・ヴィンチ橋づくり体験
- ・コンクリート作製・試験体験
- ・パワースーツ、空調服展示
- ・鳥取県埋蔵文化財センター「古墳造りの土木技術」展示

④参加人数 500人（予定）



ダ・ヴィンチ橋づくり体験



コンクリート作製・試験体験



アプリでドローン操縦体験